

安慶名周辺交通拠点整備による地域活性化のための基盤整備に係る検討調査

1. 調査の目的・必要性

交通の要衝である安慶名地区において、公共交通のシームレスな利用環境を整備するとともに、賑わいの場を形成するため、民間事業者によるバス路線の再編や賑わい創出イベント等と合わせて、バスターミナル、公益複合施設、緑地広場等の概略設計、基本計画の策定及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。

2. 調査内容

- ①バスターミナル、公益複合施設、緑地広場の基本設計、整備効果検討、基本計画の策定等
施設整備に係る需要特性（利用状況、交通状況調査、交通需要等）の整理、基本設計、整備効果検討、基本計画策定 等
- ②概略設計
既存交差点の概略設計
- ③公益複合施設のPPP/PFI可能性調査
手法選定・VFMの算出等、事業化に向けた具体的な調査

3. 調査成果

①バスターミナル、公益複合施設、緑地広場の基本設計、整備効果検討、基本計画の策定等

- ▶対象地域周辺の、施設整備に係る需要特性（利用状況、交通状況調査、交通需要等）について調査・整理した。
- ▶上位・関連計画や職員ワークショップ、庁内検討委員会を踏まえ、クロスSWOT分析によるターゲットの明確化を考慮した施設整備計画を整理した。

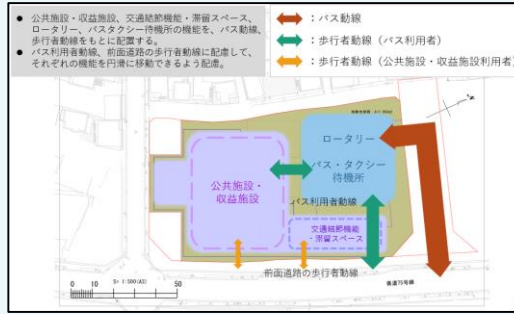
②概略設計

- ▶賑わい創出に資する施設整備に伴い、既存路線バスルートや通過台数の変更が生じると想定される既存交差点において、交差点改良案の概略設計を行った。

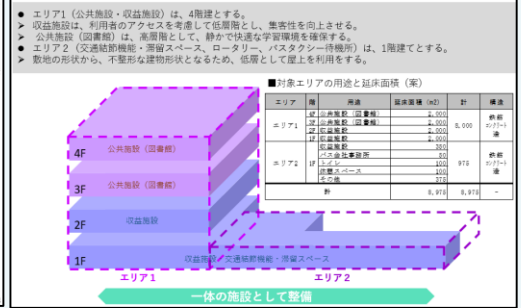
③公益複合施設のPPP/PFI可能性調査

- ▶サウンディング調査を実施し、その結果を踏まえた官民連携導入スキームの検討及び官民連携導入の可能性評価を行った。

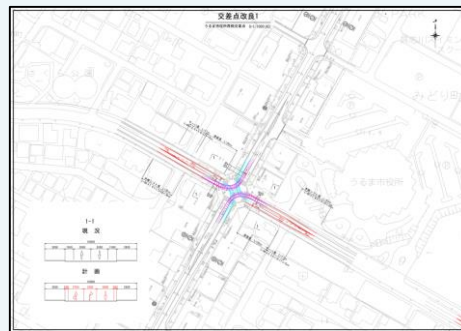
【施設配置計画】



【整備イメージ】



【交差点改良案】



【イメージパース】

【イメージ断面】



4. 基盤整備の見込み・今後の課題

- ▶施設（バスターミナル、公益複合施設等）整備については、R7年度事業着手を目途に更なる検討を進める。
- ▶交差点改良工事については、当市道路整備プログラムを考慮し、R6年度事業着手を目途に検討を進める。
- ▶公益複合施設のPPP/PFI導入については、民間事業者側のスキーム案に対する二次サウンディングを行い再度意向を調査することで、スキームの精度を向上する必要がある。